



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



Weekly Reports 2020-2021

2020-21年度RI会長;ホルガー・クナーク/地区ガバナー;高瀬 英夫
加古川ロータリークラブ会長;城 貴博 / 幹事;久後 勇人
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和3年5月14日(金) 晴 No. 26

会長の時間

会長 城 貴博

皆さんこんにちは。4月の第3週から例会は休会が続いておりますがお元気でお過ごしでしょうか？

今回は、今週の11日に開催されました5月定例理事会の報告を中心にお話ししたいと思います。

先月の25日に発出されました3回目の緊急事態宣言の期間は5月11日までとされておりましたが、大方の予想通り今月末まで延長となりました。大変残念ですが、それを受けまして18・25日の例会は休会とさせていただきます。

宣言が予定通り解除されましたら、その後は例会を再開する予定です。ただし、通常通りの食事をする例会が可能かどうかは直前の判断となります。1日も早く通常の例会が再開されることを願います。

4月の20・27日に予定しておりました次年度委員会が休会のため開催されておりませんが、6月8日の例会で1日に集約して開催の予定です。また、最終例会も16日(水)に開催予定です。コロナ禍ではありますが、極力感染防止に努めますので多数のご出席をお願いいたします。

まだまだ、感染拡大は予断を許さない状況です。安全を最優先に考えてお過ごしいただきますようお願い申し上げます。

幹事報告

- 1) ロータリーレート変更のお知らせ
5月1日より1ドル109円(現行110円)
- 2) ☆他クラブニュース
例会変更のお知らせ
明石 RC ◇5月 5日(水)→休会(祝日)
◇5月12日(水)→臨時休会[定款第7条第1節(d)3]
◇5月26日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]
高砂 RC ◇5月14、21、28日(金)→休会[定款第7条第1節(d)]
高砂青松 RC ◇5月 5日(水)→休会(祝日)
◇5月12日(水)→Zoom例会 午後1時～
◇5月19、26日(水)→臨時休会[定款第7条第1節(d)]
加古川中央 RC ◇4月22日(木)→例会取消[定款第7条第1節(d)]
◇4月29日(祝木)→休会(祝日)
◇5月 6日(木)→休会[定款第7条第1節(d)]
◇5月13、20、27日(木)→例会取消[定款第7条第1節(d)]
◇6月17日(木)→最終例会 12時半～
於;加古川プラザホテル2階

- 加古川平成 RC ◇5月5日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]
 ◇5月12、19、26日(水)→例会取りやめ[定款第7条第1節(d)]
 ◇6月16日(水)→最終例会 19日(土)午後6時～に変更
 ◇6月23、30日(水)→例会取りやめ[定款第7条第1節(d)]
- 3) 緊急事態宣言の延長の為、5月18日、25日(火)の例会を例会とりやめ[定款第7条第1節(d)3]とします。
- 4) 5月度の配布書類・お祝いの品物については郵送させていただきます。
- 5) 6月よりクールビズとさせていただきます。

定例理事会

令和3年5月11日(火)13時～ リモートにて開催

《審議事項》

- 1) 5月6月プログラムに関する件
5月中は休会とすることで承認。6月日程については緊急事態宣言が延長された場合は5月末の判断とする。
- 2) 最終例会に関する件
原案どおり承認。日程については6月1日の理事会で最終判断する。
- 3) 今村諒道会員退会に関する件
2021年4月30日をもって退会することで承認。
- 4) 複合機リース替えに関する件
一年間再リースすることで承認。

ニコニコ



5月のお祝いを受けられた方々より ¥69,000-
 本年度累計¥1,350,000-

出席委員会

- ☆ メークアップ 加古川平成RC 4/7 長谷川幸、前川真
 加古川中央RC 4/8 藤本陽、桑田圭、高見
 2021年地区研修・協議会 4/29 藤本光、芝本、畑、船原、橋本眞
 松尾、山本、米田、吉田太

親睦活動委員会

例会場当番

- 6月 1日(火) 石川、穴田
 6月 8日(火) 富田、桑田純



プログラム委員会

5月11・18・25日(火)	6月1日(火)	6月8日(火)	6月15日(火)
例会取りやめ [定款第7条第1節(d)3]	クラブ協議会 (一年間の反省)	次年度委員会 I・II	卓話 安井 担当

5月のおよろこび

- ◆ 誕生日祝 省略
- ◆ 結婚記念日祝
- ◆ 出席表彰
- ◆ 会社創立記念日

* * * * * 6月プログラム * * * * *

月日	行事	備考
6月 1日(火)	クラブ協議会	一年間の反省
6月 8日(火)	次年度委員会 I・II	
6月15日(火)	卓話	安井 担当
6月22日(火)	例会変更(日時・場所変更) 最終例会 16日(水)午後6時30分～ 於;加古川プラサホテル	親睦活動委員会担当
6月29日(火)	例会取りやめ	[定款第7条第1節(d)]

創造力と発想力で新型コロナから地域社会を守る

人びとの行動変化を促し、ビジネスの安全対策基準を導入

ロハンタ・アトゥコララさん(スリランカ、コロンボ・リコネクションズ・ロータリークラブ会員)は無力感に苛まれていました。新型コロナウイルス流行のためスリランカがロックダウンとなった2020年4月、国内の感染拡大を抑えるためにすぐにでも何かを実行したいと感じていました。

「ロックダウンは突然で、うむを言わせぬものでした。行動の自由を制限されるのは辛いものです」とアトゥコララさん。「困っている地域社会を支援することを誇りとする私たちロータリアンにとっては、特にそうです」

しかし、家にこもることにもいいことがある、会員仲間とオンラインでつながる時間と機会が持てるから、とアトゥコララさんは言います。オンラインでのディスカッションでは、コロナウイルスから身を守る方法を人びとに理解してもらうために何ができるか、さまざまなアイデアが飛び交いました。

SNSで安全対策を呼びかける

アトゥコララさんは、クラブと地区のリーダーに連絡し、政府当局と話し合い、ビジネスリーダーからの意見を聞きました。4月末には、新規感染を減らすための行動変化を促す包括的な取り組み、「Stop the Spread」(感染を阻止しよう)を立ち上げました。

さらに、スリランカの5千人以上のインターアクターに、このキャンペーンでリーダーシップを発揮し、マスク着用、手洗い、ソーシャルディスタンスといった行動を地域社会で呼びかけるよう働きかけました。これに応えたインターアクターは、感染予防を呼びかけるメッセージや保健省からの最新情報を、毎日のようにSNSに投稿しました。

「人びとに重要な情報を伝える上で、インターアクターが大活躍しています」

ロハンタ・アトゥコララさん
コロンボ・リコネクションズ・ロータリークラブ

これに加え、アトゥコララさんは、スリランカのスポーツ省やオリンピック委員会と協力し、有名スポーツ選手を「Stop the Spread」の大使として起用。クリケットとラグビーのスターやオリンピック選手をはじめ、280人以上の選手が、SNSに投稿する動画やコンテンツに協力しました。「Stop the Spread」ではさらに、安全手順を奨励するために、企業を対象とする認定プロセスを導入。スリランカ規格協会とともに認定制度をつくり、一定の安全ガイドラインを順守する企業を「感染対策の行き届いた環境」として認定しました。この認定を受けるには、マスク着用、検温、ソーシャルディスタンスの義務化といった手順が必要となります。厳しい審査に合格した300近い企業、教育機関、スーパーマーケット、小売り店が認定を受け、客や学生は安心してこれらのビジネスをサポートできるようになりました。

5月初旬にロックダウンが解除された後、インターアクターたちは地域社会の企業や店舗、家庭、交通要所を訪れ、感染予防対策に関する資料を配布。また、学校による安全対策においてもリーダーシップを発揮し、7月初旬の授業再開に貢献しました。

「人びとに重要な情報を伝える上で、インターアクターが大活躍しています」とアトゥコララさん。アトゥコララさんは、スリランカ観光局の責任者および国連においてスリランカの最高ビジネス開発責任者を務めた経験があります。

インターアクトクラブでは、12～18歳の青少年がつながり、地域や世界のリーダーと協力します。スポンサーのロータリークラブとローターアクトクラブからの助言や指導の下、インターアクターがプロジェクトを実施し、リーダーシップスキルを身につけます。

ツールとテクノロジー

スリランカのロータリークラブは、プラスチックパイプを製造する S-lon 社、および交通手段を提供している PickMe と提携して、三輪自転車に取り付け可能な移動手洗い所、2千ユニット近くをつくりました。その目的は、ウイルス感染を防ぐ最も有効な手段のひとつである手洗いを、公共の場で呼びかけることでした。

さらにケラニア・ローターアクトクラブは、症状が出た人や検査結果が陽性だった人を記録できる感染追跡用モバイルアプリ「Track the Spread」を開発。このアプリは、地元の病院や保健センターと統合されており、症状のある人が多いスポットや地域を医療従事者が特定できます。また、このアプリを使ってオンラインでスーパーや薬局、小売り店で買い物を水道光熱費の支払いができ、外出の必要がなくなるため、感染拡大抑止にも一役買っています。「これで地元ビジネスの存続にも貢献できる」とアトゥコララさんは言います。

このアプリは現在、スリランカ国内の保健局での採用のため、同国政府によりテストが行われています。

次なる段階

同国ではワクチン接種が進み、これまでに80万服が接種されています。ロータリークラブも地元保健局と協力し、データ入力など、ワクチン接種会場をサポートしています。

ワクチン接種の取り組みを成功に導くため、クラブは、WHO(世界保健機関)や保健省と協力して、国会議員や宗教・地域社会のリーダー向けにデジタル冊子を作成。印刷可能なこの資料には、各種ワクチンに関する情報、安全対策、コロナワクチンに関する主要メッセージが収められています。

3月半ば現在、確認された新規感染数は88,000件以上、死亡数は530件以上となっています。

「これまでのところ、新型コロナウイルスを追い詰めることができます。しかし、次の目標は、スリランカの人びとに十分にワクチンが行き届くようにすることです」とアトゥコララさんは話します。